

## 第115番組審議委員会議事録

日時：令和7年3月19日（水）13時30分～

場所：市民活動センター/コミュニティf（富士市吉原2丁目10番20号）

1. 委員総数8名

2. 出席人数5名

3. 出席委員の氏名

吉野渉 委員長・長橋順 副委員長・稲葉美津恵 委員・青木洋一 委員・内藤佑樹 委員

4. 放送事業者出席者名

小沢教司 代表取締役社長

山本茂 放送局長

山本局長：本日はお集りいただき、ありがとうございます。今日は115回目の番組審議となります。皆様よろしくお願ひ致します。それでは番組審議委員長の吉野渉委員長一言よろしくお願ひ致します。

吉野委員長：今日は風の強い中お集まりありがとうございます。最近暑かったり寒かったりで毎朝洋服選びが難しく、天気を読めない日が続いています。花粉がひどく大変な方もいらっしゃると思いますし、出かけるのが億劫になるかたもいらっしゃると思います。そんな時に今以上にラジオを聴こうと思う方が増えるように今回も審議に力をいれていければと思います。皆様よろしくお願ひ致します。

山本局長：ありがとうございます。続いて弊社小沢からお願ひ致します。

小沢社長：皆様本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。また今日も忌憚のないご意見をよろしくお願ひ致します。

山本局長：それではまずは、前回審議をお願いしたラジオエフ年末特番「富士山女子駅伝2024副音声的ラジオ」のご報告です。毎年恒例の番組ではありますが、今回は皆様よりご好評いただいております。改善点としてもご意見をいただいた、中継・特にゴール地点をもっといれてみたらどうかというご意見をちょうだいいたしました。特にゴール地点など選手のインタビューができるのか含めて、改善点をみつけていってより良い番組にしていけたらと考えております。議事録が弊社ホームページに掲載しているのでご覧いただけたらと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

さて、今回は今月14日に放送しましたGreen&Brown内の「食とみどりの連絡聴（帳）」です。番組は毎週金曜日放送しているGreen&Brownの中で昨年12月よりスタートしております。

富士宮市のボタニカルクリエイター・料理研究家の峰亜由美さんとナビゲーターの千野真紀の二人がトークをするコーナーです。タイトル通り「自然の力を感じながら・みどりを育む・食する」をテーマに季節の行事や季節を彩る草花食べ物についてお話ししていただくコーナーになっております。

今回は先週放送した内容をお聴きください。10分程度になっております。

## 番組審議

- ・ 審議番組 Green&Brown 内「食とみどりの連絡聴」  
(10分程度)
- ・ 放送日時 令和7年3月14日 金曜日 14:30～
- ・ 出演 ナビゲーター：千野 真紀 様  
ボタニカルクリエイター：峰 亜由美
  
- ・ 番組編成制作方針、説明
- ・ 質疑応答

## 検聴10分程

山本局長：ご検聴ありがとうございました。それではここからは吉野委員長にお任せ致します。

吉野委員長：はい。それでは審議を始めたいと思います。

まずは、私の方から。一番はじめに山椒の話がでていましたが、恥ずかしながら私は一度も食べた事がなくてですね、ラジオを聞いて縄文時代から食べられている。とう事をきき、縄文時代の暮らしの中に浸透しているという事を知り、食べてみたいなと思いました、また、色々な雑学、身になる話が聞けてよかったです。放送時間帯的に食べ物を食べたくなる時間帯で、ほのぼのできて面白かった。概要説明の中にある季節の行事についてもすごく聴いてみたいと感じました。私としては全体的に好きでした。概要にもある季節・風景・食事という事で、山椒は年中スーパーなどで見かけているので、その季節ごとの楽しみ方の紹介があっても良かったのかなと感じました。そして、縄文時代からあるよ、とか古くから人間と生活になじみがあるという事で生活に植物がある力があると感じました。それでは皆さんからのご意見を順番に聞いていけたらと思います。今日は青木さんからお願い致します。

青木委員：これはスポンサーさんとしてフィガロさんが入っているという事ですか？今回だけ峰さんなんですか？

山本局長：峰さんを出演者としてピックアップしたコーナーです。

青木委員：最後のフィガロさんについて話していますが、関係はないという事ですか？

山本局長：ご主人が働いているという事だそうです。

青木委員：フィガロさんの告知の為のコーナーではないという事ですね。

山本局長：そうですね。

青木委員：フィガロさんと峰さんの関係が突然でてきているので「あれ？」って感じました。

山本局長：最後の箇所については峰さんに対しての気遣いという感じで受け取ってもらってよいと思います。

青木委員：なるほど。分かりました。コーナーの内容情報として、春は「苦み」を出して動物に食べられない様にする事や、縄文時代からあるなど、勝手ですが、聞く側が料理についてもうちょっとやるのかな？と思ってしまいました。例えば山椒をたたいてヨーグルトにあえるとか、料理について新たな価値観などのサプライズがあるのかな？と思っていたがそういったのも無く話が進んでいた。「ボタニカルクリエイター」というのが分からなかったですね。なので料理研究家が頭に残ってこういう意見になったんですが。料理のワンポイントアドバイスかなとも思って聞いてはいました。

山本局長：私も峰さんについて詳しくは存じ上げないんですが、食べ物と観葉植物草花に造詣が深いという風に聞いております。そういった面から番組にぴったりだと感じてお願いしているそうです。

青木委員：ボタニカルというのは草花全般という事なんですね。

山本局長：そう考えていただいて良いかと思います。

青木委員：あまりそういうことを認識して生活していなかったので、良い話が聞けたなと思いました。

吉野委員長：それでは稲葉さんお願いします。

稲葉委員：あの、今までと違って面白いなと思いました。主婦として食事の支度してるんですが、芽吹きの方は苦みがあるんですよ。湯がいてもいいんですよ。苦みを取る方法や生かす方法などアドバイスや調理方法の紹介があってもよかったのではと思いました。山椒の話でも「次はタケノコがでますから」と話がありましたが、「山椒とタケノコの相性もいいですから」なんてポロっといっていただけたら、じゃあやってみようかな。と聴いている人が行動に移せる何かがあるともっとより良いと思いました。それとちょっとした利用の仕方もついでに教えてあげるともうちょっと有益になるかと思いました。

吉野委員長：料理研究家ならではの知識を使ったプラスアルファですかね？

稲葉委員：そうですね。そういったことですね。

吉野委員長：赤池さんはいかがでしょう？

赤池副委員長：実は私も「ボタニカル」を知らず調べてみましたが、この概要を読んで、聴いているからわかる部分もあるんですけど、最初は山椒から入って、歴史や文化、化石などの話の中で効能なのか香りなのか、テーマが山椒なのかなと思っていたら途中からフキノトウや春菊、グラタンなどとなり、歴史なのか、香の物なのか、

種類をこれとこれをいいたいのか……。山椒はそんなに身近に使う物ではないと思うんですが、そこをフカボリするのもかとも思いました。最終的に焦点があまり見つからないと思いました。流れで聞いていただけるんですが、何をテーマに伝えたかったのか。いまいちぼやけてしまった気がしました。料理をあまりしないからかもしれませんが、すごく勉強にはなりました。ただ、ゴールを決める必要があると感じました。テーマを2つ3つにした方がもっと聴いている人が分かりやすく聞き入れやすいのかもしれないですね。

山本局長：赤池さんの意見はすごく貴重なご意見だと感じています。私共も番組やコーナーを構成するにあたって、一番の王道が今日のテーマはこれですと言って、その中の流れで脱線するのは良いけど、新聞の見出しのような何かがあると聞いている人が分かりやすいですね。その裏手をとってふんわりさせるやり方もありますが、王道的な流れがディレクターやナビゲーターに認知されていないのかもしれないですね。この事は改めて周知させていけたらと思います。ありがとうございます。

吉野委員長：内藤さんはいかがでしょう？

内藤委員：基本的に皆さんと同じですね。内容はカフェで女性同士が話しているのを傍で聞いている印象です。人に聴いてもらう内容として、良くも悪くもフワツとしていてどっちを取れば良いか分からない面もあります。ただ、フワツとしている分、山椒の話が自然に入って来る会話で、講義の様になっておらず分かりやすかった。山椒だったら全体的におっしゃられていた様に、テーマの植物で一個の料理を教えて欲しいなと感じました。時間が余っていた分フワツとなってしまっていたのかなと感じます。千野さんの投げかけでコーナーが成り立っているようにも感じます。ただ峰さんが何をされているのかが分かりにくいし、峰さんの人柄などが分かりやすいようになると良いと思います。そうすると、峰さんがどの視点からどんな話をしているのかが聴いていて分かりやすいと思います。こういう立場や経歴の人がこういう話をしている。というふうに理解できると思います。

稲葉委員：このコーナーは10分くらいですか？

山本局長：今お聴きしたのが全てで10分程度です。

稲葉委員：10分間だとこれだけの話をもってくるとうごく材料がありすぎると感じます。難しいですよ。フワツとした感じでやるなら、尚の事そう感じます。もうちょっと10分しかないと考えていただいて、今日のテーマを決めていかないと最後が尻つぼみになってしまっているんじゃないかなと思います。ただ、先程もお話しさせていただいた通り、これまでラジオエフで聞いたことのない切り口で楽しく聴けました。

青木委員：このコーナーはスタジオで生放送の中で話しているのですか？録音したのを話しているのですか？

山本局長：生放送のスタジオで話しています。

青木委員：最初千野さんが峰さんに「作ってますよね？」ってきいたら「作っていない」と返事をしました。それだったら打ち合わせで聞けば良いのにと感じました。

山本局長：千野さんはキャリアが長いので、うまく出来る人です。フワツとして終わらせる技量があります。

稲葉委員：話すコンテンツがたくさんありすぎですもんね。フワっとなっちゃいますよね。

山本局長：ナビゲーターも器用な方なので、色々な話ができるのでこのコーナーについてはフワっとした方が良く判断したと思います。自信が無い人だと先程話したような「テーマ」を決めて話をするのが最適ですが、千野さんだから出来ていという風に感じます。

内藤委員：がちがちに固めたコーナーにすると二人の感じだとうまくいかないかもしれませんね。

青木委員：最後のフィガロのケーキがなんだっただろ？とってしまいますね。

山本局長：せっかくだからフィガロの話もしておきましょう。という感じなのかもしれませんね。

稲葉委員：コーナーで今の季節だと春の芽が多いですからね。少しフワフワしてしまっていましたね。

吉野委員長：このふんわりが正解に近いのかなと思いました。BGMにもあったトークでしたし。また違う10分間を聞いてみたいなと思いました。

山本局長：本日も貴重なご意見ありがとうございました。

小沢社長：次回の開催は5月21日水曜日同じ場所で開催になります。よろしくお願ひ致します。本日はありがとうございました。

山本局長：本日も貴重なご意見ありがとうございました。

議事録の公表：令和7年4月1日 自社ホームページにて公表